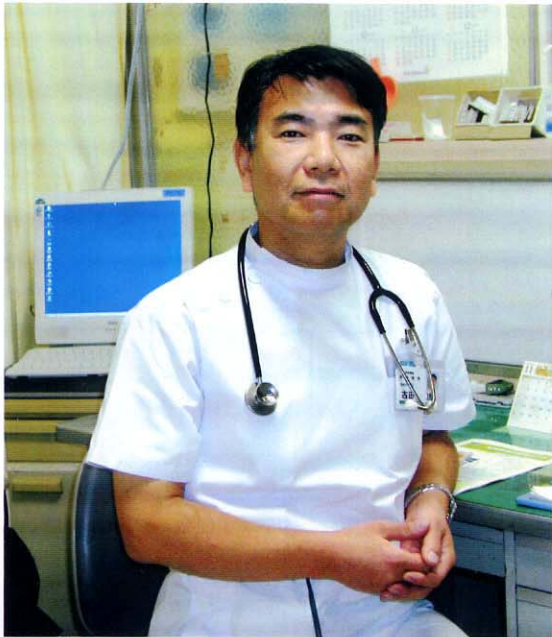




松本病院 地域医療連携室だより

Matsumoto Hospital

発行責任者：独立行政法人国立病院機構 松本病院 院長 岩浅武彦
〒399-8701 長野県松本市芳川村井町1209番地
TEL (0263) 86-2812 FAX (0263) 86-2816



病診連携室は 地域に開かれた窓

独立行政法人国立病院機構 松本病院
古田 清 病棟診療部長

国立病院機構の各病院において立地条件や、地域に必要とされる医療サービスが異なります。個々の病院が独自の運営方針を、自己責任のもとで、特色を活かして決定することができることが独立行政法人化の大きな改革として据えられました。それまでの閉鎖された国の機関から、より地域住民に密着した、現場のニーズに則した医療サービスを展開して行かなければなりません。地域の患者さまの医療に直結した近隣の医療機関との太いパイプを形成することにより、医療の安全が確保された、分かりやすい説明と、相談しやすい環境づくりなど適切な対応が患者サービスの中核をなすものと考えます。患者さまを中心に据えた医療を進

めるに当たり、医師、看護師、技師、事務担当者の職務を越えたチーム医療が行われることが基本であり、病診連携室を効率的に活用し、地域に根ざした医療を展開したいと考えています。

以前より政策医療として各病院に特徴づけられた機能分担がありました。松本病院は、悪性腫瘍“がん”と、妊婦から新生児・小児への“成育医療”、そして救急医療、エイズであります。独立行政法人化に際し、当院の診療の機能分担とし特徴づけられた分野を広く地域の方々に知ってもらう、その地域に浸透させることが、ますます必要となってきます。病診連携室は地域に開かれた窓です。当院の各診療科の特徴、個々のスタッフの専門分野を知っ

ていただくために、病診連携室を通じて迅速に公報活動を継続していきたいと思っています。

病棟診療部としまして、ご紹介入院されました患者さまの診療に誠心誠意努めております。施設が老朽化していることにより、ご不自由をおかけすることが無いように出来る限り努力しております。診療の質はもちろん、患者サービスの面で、患者さまからの評価、例えば信頼感、安心感そして満足感といった尺度からの評価が、きわめて重要なポイントになってきました。その評価は、個々の患者さま、ご家族からばかりでなく、同じく地域医療に長年携わってこられた開業の先生方からも、間接的あるいは直接的に、ご意見をいただけることが今後の病棟診療を向上させる上に大変重要と考えます。

病診連携は患者さまのご紹介ばかりではありません。当院が常時対応できるもののひとつに、感染症汚染針事故対策があります。採血した後の注射針は、リキャップせずに専用の針捨て容器に直ちに捨てることが基本となっています。針事故防止の安全装置付きの翼状針や留置針が普及してきており当院でも採用に踏み切りました。しかし完全に無くならないのが医療従事者の針刺し事故です。現在未知のウイルスや病原体が血液や体液に含まれている可能性はありますが、当院では、迅速検査でHBs抗原、HCV抗体、TP抗体、HBs抗体、HIV抗体が測定可能となっています。またHBIGやHBワクチン、抗HIV予防薬も常備されており備えは万全です。特にHIV関連汚染事故では、事故後2時間以内の制約があり急を要します。いつでもご一報ください。

独立行政法人国立病院機構 松本病院の基本理念

- 患者様の立場や権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに患者様中心の医療を行います。
- EBMに基づいた医療を行うことにより、人の生命に関わる専門職として質の高い医療を責任をもって提供します。
- 和とは連携である。職場の和のみならず、専門技術を総合的に連携させ、チーム医療や地域の医療連携を大切にします。
- チャレンジ精神を持ち、常に前進します。

職 場 紹 介

当院内科は、循環器科、消化器科と不可分の関係であり、互いに補いながら内科系疾患の診療にあたっています。メンバー構成は、4人の内科医長、血液内科(北野)、肝臓内科(古田)、内分泌・代謝(青木)、腎疾患・透析(小口)が、それぞれ専門分野を特徴とし、消化器科、循環器科と協力しながら、広い範囲の内科疾患の、ほぼ全体をカバーして診療をおこなっています。内科医師(熊谷、武田)、内科研修医(上條、高橋)は、その指導の下に、さまざまな救急、慢性の内科疾患の診療を分担しています。そして本年度から必須となった卒後臨床研修カリキュラムの研修医(清水、花村、金田)も6ヶ月間の内科研修に参加しています。

内 科

血液内科

各種血液疾患の診療は北野喜良(日本血液学会専門医・指導医・代議員、アメリカ血液学会会員)が担当しています。対象疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、各種貧血、血小板減少症、凝固異常症、多血症、HIV感染症・エイズなどです。また、原因不明の発熱にも対応しています。血液腫瘍性疾患に対してはEBMに基づいた標準的化学療法を施行しており、最近3年間の治療成績では急性白血物の完全寛解導入率は85%(生存率61%)、悪性リンパ腫の完全寛解率78%(無病生存率58%)です。多発性骨髄腫に対するサリドマイド治療など先駆的治療にも取り組んでいます。HIV感染症・エイズについては専門外来でチーム医療を行っています。

 **北野 喜良**
(教育研修部長)

肝臓内科

肝疾患の診療は最近、目覚ましく進歩しました。B型慢性肝炎に対する内服薬ラミブジンによる治療、C型慢性肝炎に対する、強力なインターフェロンとリバビリンの併用療法、1週間に1回の注射で済むペグインターフェロンの出現など、多様なニーズに応えることが可能となりました。また肝細胞癌の治療も、肝切除術から肝動脈塞栓術、エタノール局注からラジオ波による局所治療へと治療の幅が広がってきました。また不意に見つかる肝機能障害の原因も、薬剤性や脂肪肝など多岐にわたり、原疾患の治療の妨げとなり見逃せません。月・木の外来日のほか、火・水・金は腹部エコーを行っており、随時ご紹介をお受けしています。是非ご相談ください。

 **古田 清**
(病棟診療部長)



内科スタッフ

小口悟寛 古田 清 北野喜良 青木雄次
武田龍太郎 高橋寧史 上條 敦 金田智子 清水郁夫

内分泌・代謝

生活習慣病のなかでも糖尿病は、有病率が高く一般的疾患ですが、理想的なコントロールを得ることは容易ではありません。また、内分泌・代謝疾患で頻度の低いものは、診断・治療が困難なことが多く、頻度の高い甲状腺疾患とともに当院の診療対象となっています。外来診療は、糖尿病・内分泌外来として青木(火・水・金)、熊谷(火・金)、相澤(信大教授：木)の3名が担当しています。入院診療は、青木、熊谷が担当しています。月曜日～金曜日(5日間)の糖尿病ケア入院(教育入院)をおこなっています。利用しやすくより満足していただけるように、さらにその内容の充実を図っています。

 **青木 雄次**
(内科医長)

腎疾患・透析

糸球体腎炎を中心とする一次性腎疾患から、糖尿病性腎症や腎硬化症などの二次性腎疾患まで、検尿異常や腎機能障害をきたす疾患を外来診療しています。

昭和48年より導入された血液透析システムは、現在も稼働中です。慢性腎不全患者の透析の開始、および急性腎不全の治療が可能です。透析導入患者の他院への紹介率は常に90%以上を保っております。またCAPD療法も行っており、患者さんの状況に合わせた透析治療の選択が可能です。

 **小口 悟寛**
(内科医長)



開業医の先生紹介

松本市 宜保消化器科内科クリニック

宜保 行雄 院長



当科は「長野県で最高の医療サービスを」との方針で特に消化器、肝臓病の分野で質の高い医療を目指し1999年開院した。医療の原点の思いやり、やさしさに満ちた、患者中心のチーム医療を職員全員に徹底し、且つ院長自身も、最先端医療を吸収しようと脳内のフロッピーをフルブッキングさせている。

地域医療のレベルアップのため当時信大第一外科教授であった幕内教授と私と県下に2人しかいなかった超音波指導医として長野県の医師、検査技師、看護師、レントゲン技師の指導を開業後も引き続き行い、超音波専門医、超音波検査士にすることが出来た。

良質の医療にはヒューマンパワーを集結せねばならないとの方針で看護師3人、検査技師2人、事務5人が勤務しており、医師一人の医院にしては多人数である。

さらに、原則予約制にして待ち時間を減らし、患者さん一人一人への十分な時間をかけた診療を行うよう努めて

いる。

当院より紹介入院させた患者さんは、院長外来終了後に病棟まで足を運び患者さんの不安、孤立感、孤独の払拭、病院主治医との意見交換を通して継続した医療の実践に努めている。最近、入院させた患者さんにしばしば言われる事は「とても親切な白衣の天使のいる病棟(院)に紹介していただいてありがとうございます。」と我々まで感謝される事で本当に有難く思う。

地域医療と専門性の発揮を両立するためには、後方入院施設の協力が欠かせない。特に松本病院は全科に患者さんを紹介しており、紙面を借りて感謝の意をお伝えしたい。

緊急検査、緊急入院、緊急手術が必要と判断され、紹介する折、いやな顔せず受けてくれた事に改めて患者さんと共に重ねて深謝致します。

また内科の古田医長の強力なバックアップの元、私自身で長期治療している患者さんが入院した際、私自身が肝

臓病の特殊な検査や処置を行うことをお許しいただいている。患者さんに入院治療を説得する際このような体制が確立していると容易に承諾が得られ有難い限りである。

私は肝移植を含めた肝臓病専門外来、肝臓のセカンドオピニオン外来を専門外来として行っている。これまでに肝移植関連で福岡、広島、和歌山、大阪、山梨、新潟、埼玉、千葉、東京、宮城より患者が来院した。実際、移植した方は9人、待機中が12人である。遠方から薬をも縛る思いで来られた方には出来るだけその日に肝機能検査、腹部超音波、CT、MRI検査を行い、結論を出し治療指針を決定したい時、当日飛び込みで検査を御願ひすることがある。このような時親切にCTやMRIを即日施行していただき、患者さんが松本病院に感謝しつつ故郷へ帰っていく後ろ姿は実に満足感が漂っている。

松本病院においてはこれからも、職員中心ではなく患者中心の医療、地域医療機関と緊密な連携の下での最高の医療を共に実践して行きたいと考え、希望し、感謝する。



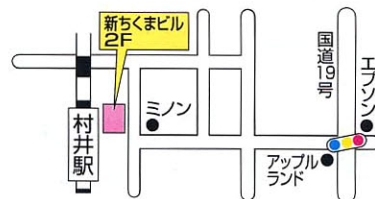
宜保消化器科内科クリニック

〒399-0032

長野県松本市芳川村井町237

TEL&FAX : 0263-57-6060

e-mail:y.gibo@sweet.ocn.ne.jp



CT、MRI、RI検査を依頼するには？

地域での高額医療機器の共同利用が勧められています。

当院におきましても、上記検査につきまして2名の放射線科医と9名の放射線技師がお待ちしております。

ご依頼は当院地域連携室にご連絡いただき、予約をしていただきます。検査当日は、ほぼ時間どおり検査が行われ、検査終了後結果を患者様にお渡しいたします。

ご利用をお待ちしております。



地域医療連携室 スタッフの紹介



室 長
米 山 威 久
(副院長)

趣味・特技 骨董 etc.

ひとこと 昼のみならず、夜のお付き合いも宜しくお願い致します。



係 長
松 下 守
(専門職)

趣味・特技 特になし

ひとこと 今後とも、よろしくお願いいたします。



室 員
長谷川 直 子
(ソーシャルワーカー)

趣味・特技 書道

ひとこと 経済的問題、退院後の生活に関する悩み等、患者様の生活に関するご相談をお受けしております。



室 員
征 矢 恵 子

趣味・特技 歌舞伎・宝塚鑑賞、旅行 etc.

ひとこと 出逢いをいつも大切にしています。明るく、さわやかな笑顔と細やかな心遣いで頑張ります。宜しくお願い致します。



室 員
木 下 美 保
(派 遣)

趣味・特技 スポーツ観戦

ひとこと 新しい職場でわからないことばかりですが、よろしくお願い致します。



室 員
和 田 晃 子
(派 遣)

趣味・特技 読書

ひとこと 迅速・正確な仕事を心掛けております。

地域医療機関の先生方のご寄稿、ご意見をお待ちしております。

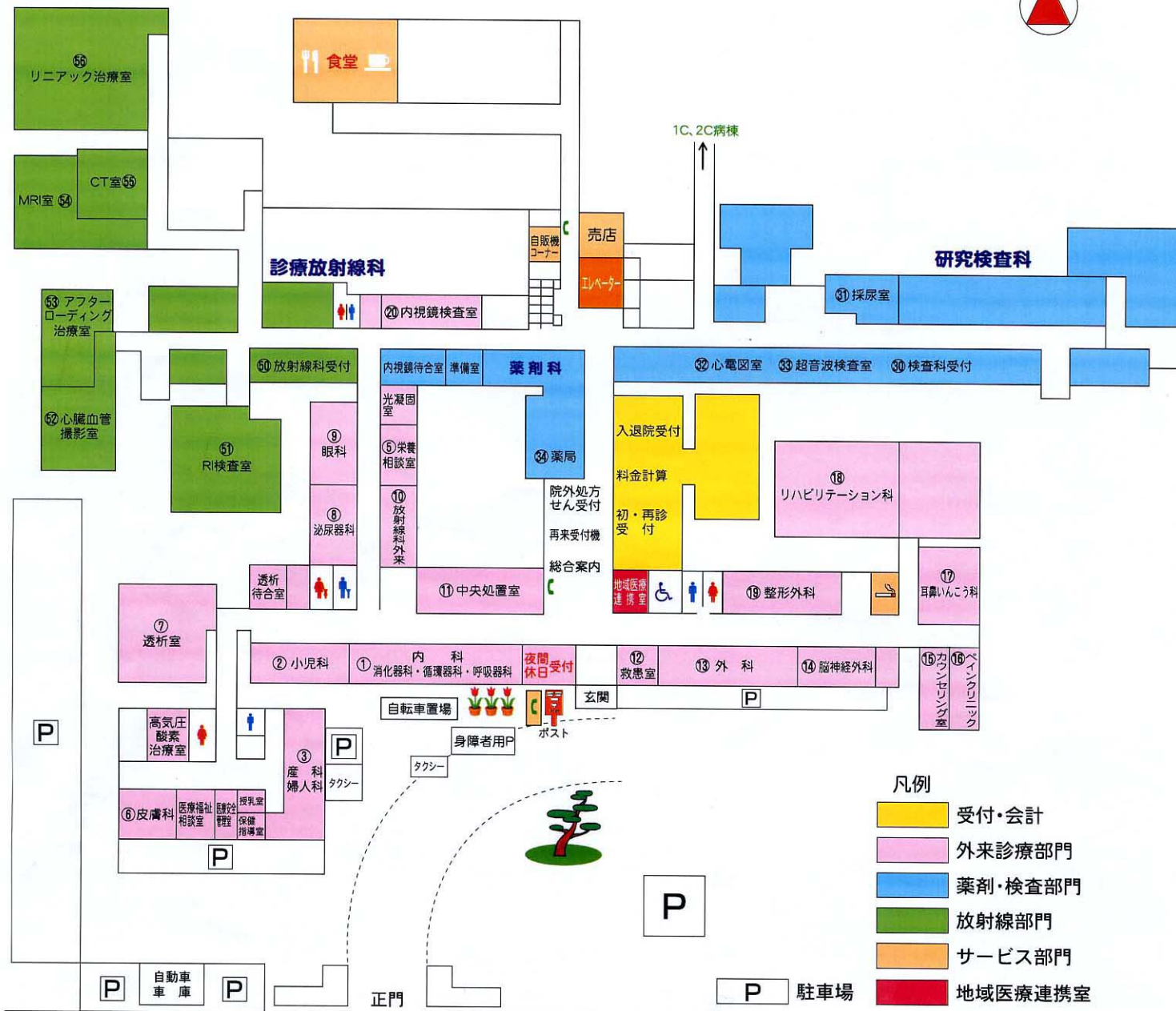
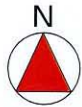
地域医療連携室 ☎ 0263-86-2812 征矢まで連絡をお願いします。

診療科名	曜日	月	火	水	木	金
内 科	1	上條 敦	小口 悟寛 (腎 臓)	金田 智子 清水 郁夫	高橋 寧史	小口 悟寛 (腎 臓)
	2	古田 清	青木 雄次 (糖尿・内分泌)	青木 雄次 (糖尿・内分泌)	古田 清	青木 雄次 (糖尿・内分泌)
	3	馬渡栄一郎 (循環器)	麻生 真一 (循環器)	馬渡栄一郎 (循環器)	柴 祐司 (循環器)	武田龍太郎
	5	松林 潔 (消化器)	宮林 秀晴 (消化器)	松林 潔 (消化器)	相澤 徹 (糖尿・内分泌)	宮林 秀晴 (消化器)
	6	北野 喜良 (血 液)	熊谷美恵子 (糖尿・内分泌)	武田龍太郎	北野 喜良 (血 液)	熊谷美恵子 (糖尿・内分泌)
	専門			北野 喜良		
小 児 科	1	松岡 高史	野呂瀬 昇	北原 正志	荒井 史	牛久保誠一
	2	北原 正志	柴 直子	牛久保誠一	松岡 高史	野呂瀬 昇
	3	荒井 史			(交代制)	柴 直子
	14-15	専門外来(予約制)	一ヶ月検診	専門外来(予約制)	予約検査	専門外来(予約制)
外 科	1	小池祥一郎	岩浅 武彦	小池祥一郎	中村 俊幸	岩浅 武彦
	2	江口 隆	中村 俊幸	(前野 一真)	江口 隆	前野 一真
	3		前野 一真			(江口 隆)
	13-15		特殊診療		ストマ外来 乳腺外来(清水忠博)	
整形外科	1	伊東 秀博	松林 茂之	(交代制)	伊東 秀博	伊東 秀博
	2	松林 茂之	籠田 豊		松林 茂之	籠田 豊
	3	成田 伸代	成田 伸代		籠田 豊	成田 伸代
		(装 具)			(装 具)	
	午後		(検 査)			
脳神経外科		渡辺 宣明	渡辺 宣明	渡辺 宣明	(予定手術)	渡辺 宣明
皮 膚 科		徳田 安孝	徳田 安孝	徳田 安孝	安藤・芦田	徳田 安孝
	午後			アレルギー外来	手 術	
泌尿器科	午前	米山 威久	紺谷 和彦 横山 仁	小宮山 斎	横山 仁 紺谷 和彦	小宮山 斎
	午後					
婦 人 科	1	石橋 武蔵	三溝 ゆり	横西 清次	野池 雅実	横西 清次
	2	三溝 ゆり	野池 雅実	石橋 武蔵	横西 清次	交代制
産 科		横西 清次	石橋 武蔵	野池 雅実	三溝 ゆり	交代制
	午後	ハイスク妊娠 不妊症		癌 検 診		
眼 科		松尾 俊彦	松尾 俊彦	松尾 俊彦	松尾 俊彦	松尾 俊彦
			初診のみ			
耳鼻いんこう科		後藤 昭信	後藤 昭信	特殊診療	後藤 昭信	後藤 昭信
放射線科		伊藤 敦子	伊藤 敦子	伊藤 敦子	伊藤 敦子	伊藤 敦子
		越原 浩	越原 浩	越原 浩	越原 浩	越原 浩
	午後					小岩井慶一郎
麻酔科 (ペインクリニック)			井上 泰朗 (予約制)			

診療受付時間	初 診	8:30～11:00	土・日・祝日	休診
	再 診	8:30～11:00		
面会時間	平 日	15:00～19:00	土・日・祝日	13:00～19:00

外来診療科案内図

(すべて1階フロアーにあります)



凡例

- 受付・会計
- 外来診療部門
- 薬剤・検査部門
- 放射線部門
- サービス部門
- 地域医療連携室

交通案内



独立行政法人国立病院機構
松本病院 地域医療連携室

〒399-8701

長野県松本市芳川村井町1209番地

TEL.0263-86-2812

FAX.0263-86-2816